## ＜フィリピン事業（マニラ・路上）＞「生まれ変わったカリエカフェ」

ICAN マニラ事務所
飯塚　愛理
～プロフィール～
大学卒業後、民間企業の法人営業を経て、国際政治・平和構築での修士課程を取得。2018 年 2 月より現職。

元路上の子どもたちによってマニラ首都圏ケソン市の国立フィリピン大学内で運営されていたカリエカフェが、『勉強カフェ』としてリニューアルオープンいたしました。カリエカフェは以前、パンや焼き菓子、パスタを提供するカフェとして営業をしていましたが、なかなか黒字にすることができず、経営モデルを再考することになりました。特に、パン作りはカリエカフェにとってシンボル的存在でもありましたが、まずは黒字経営を目指すことを目標にし、新しいカフェではパン作りを一旦断念することになりました。

今回のリニューアルオープンに向けて力を入れたのは、フィリピン大学内のニーズを把握するための市場調査でした。学生たちはどんなことをカフェに求めているのか、それをいかにビジネスにつなげるかがポイントでした。学生への市場調査では、「普通のカフェはうるさくて勉強に集中できない。」、「大学内には快適に勉強する場所がほとんどない。図書館は冷房がなくて暑いし、喫茶店は寒すぎる。」等の声があり、勉強カフェへの確かなニーズを確認できました。また、カリエメンバーの経営意識や接客を強化するため、アイキャンのパートナー団体である協同組合 PICO から 3 名が、カリエカフェの運営に参加することになりました。PICO は、パヤタスごみ処分場周辺に住むお母さんたちによって医療活動を行っている住民組織で、経営や接客において高い能力と経験を持っているため、一緒に運営をすることで、毎日彼女たちの姿勢や作業から学ぶことができると考えたからです。

再オープン前後は怒涛のような日々でした。内装の整備に加え、勉強カフェとしてのビジネスを学ぶための他のカフェへの視察研修を行うと同時に、カフェの存在を広報するためのビラ作りを行い、オープンから 12 日間で約 4,050 枚のビラを大学内の学生へ配りました。また、授業の中でカフェについて説明をしたり、ビジネス学部の学生からインタビューを受けたりする等、大学側の協力も得ることができました。

**ある日のスケジュール**

09:30 メールチェック
10:00 全体会議
11:00 予算申請確認
13:00 事業別会議
15:00 路上事業関連の報告書作成
16:00 ｶﾘｴｶﾌｪ訪問 広報、売上分析
17:00 ｶﾘｴｶﾌｪ事業計画の考案
18:30 帰宅

しかし、黒字経営にするためには、まだ十分な利益が出ていないのが現状です。お客様からは、「内装が素敵で居心地よく勉強に集中する事ができた。」、「店内の音楽のセンスが良い。」等の嬉しいお言葉を頂く一方で、「もっと遅い時間まで営業してほしい。」「Wi-Fi を設置してほしい。」「以前のようにパンやパスタを売ってほしい。」等の有難いご意見も頂いています。今後は更に多くのクラスでのカリエの説明や大学公式のホームページに掲載してもらう等、広報活動を強化すると共に、こうしたお客様の声を少しでも反映できるよう、常にビジネスを改善していく予定です。

---

### ジブチ事業　11 月 12･19 日／ホルホル・アリアデ（ジブチ）

**子どもの権利と保護に関する啓発キャンペーンを実施**

難民コミュニティに対し、啓発キャンペーンを実施し、ホルホルでは 200 名、アリアデでは 185 名が参加しました。イベントでは、アイキャンの活動説明や、子どもの権利と保護に関する子どもたちによる歌・劇・ダンスの発表が行われました。発表を見た男性からは、「男の子も女の子も同じように教育が大切だと分かった。」との声が聞かれました。

### フィリピン事業（マニラ・ごみ処分場）11 月 8 日／パヤタス（フィリピン）

**商品のコスト見直しを実施**

フェアトレード生産者団体（SPNP）は、既存の商品のコストについて話し合いを行いました。材料費が値上げする中、極端に商品の価格を上げずに販売できる方法はないか、材料費以外で節約できる費用はないか、等のアイディアを出し合いました。メンバーの女性は、「商品の価格が上がりすぎると、購入されにくくなってしまう。SPNP みんなで協力してコストを見直していく必要がある。」と話しました。

### NGO 相談員　11 月 10･11 日／富山・愛知

**NGO 就職相談等を行いました**

10 日、11 日「ワールド・コラボ・フェスタ 2018」に、11 日「国際交流フェスティバル in 富山」に、NGO 相談員として出展をしました。NGO や国際協力に関する質問対応に加え、NGO での就職やボランティア等を希望する方への相談対応をしました。ブースに来られた女性からは、「将来 NGO への就職を検討している中、今後自分が何をすべきか考えるきっかけになった。」とのコメントをいただきました。

### 講演・イベント・訪問受け入れ　11 月 10 日／愛知

**中学生 12 名へ講演を実施しました**

名古屋女子大学中学校の生徒 12 名に対し、フィリピンの路上の子どもたちやイエメンの食糧不足の現状について講演を行いました。中学生でも身近にできることについて考え、意見を出し合った後、ボランティア作業を行っていただきました。また、今後できることとして街頭募金活動を紹介したところ、「学生でも街頭募金に参加できると知ったので、今度参加したい。」と話してくれました。